横浜湘南道路の設計・用地説明の開催について

－記者発表資料－

横浜湘南道路は、横浜市栄区田谷町から藤沢市城南一丁目までの延長約７．５ｋｍの自動車専用道路であり、国道１号等の交通混雑緩和を目的に計画され、さがみ縦貫道路や高速横浜環状南線等と一緒に首都圏中央連絡自動車道を形成し、平成１２年７月に都市計画決定されました。

このたび、下記の通り、横浜湘南道路の設計がまとまった区間を対象にして、地元関係者（地権者等）の方々に道路の設計内容や用地補償の考え方等をご説明いたしますのでお知らせします。

①説明対象区間　横浜市戸塚区小雀（小雀側トンネル坑口）から藤沢市城南４丁目（都市計画道路藤沢厚木線）までのトンネル区間のうち設計がまとまった区間約5.6㎞

・開催日及び場所　平成１５年２月１２日（水）鎌倉市関谷小学校体育館
平成１５年２月１３日（木）横浜市東俣野小学校体育館
平成１５年２月１８日（火）藤沢市明治市民センター
平成１５年２月１９日（水）藤沢市大清水小学校体育館

・開催時間　各日とも１９時～２０時３０分

②その他
今回説明を行う区間について、次のとおり「相談ｺｰﾅｰ」を開設いたします。

・開催日及び場所　平成１５年２月１４日（金）鎌倉市玉縄行政センター
平成１５年２月１６日（日）横浜市大正地区センター
平成１５年２月２１日（金）藤沢市藤沢公民館
平成１５年２月２２日（土）藤沢市明治市民センター

・開催時間　各日とも１０時～１２時、１３時～１５時

今後の予定といたしましては、設計内容についてご理解を得つつ、用地の幅杭設置及び用地測量等を進めて行きたいと考えています。

平成１５年１月１７日
国土交通省　関東地方整備局
横浜国道工事事務所

記者発表クラブ
神奈川県県政記者クラブ 横浜市政記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省関東地方整備局 横浜国道工事事務所 調査第一課長　本田　康秀　電話045-316-3536

一般国道468号　首都圏中央連絡自動車道

（横浜湘南道路）

１．概　要

横浜湘南道路は、「首都圏中央連絡自動車道」の一部をなすとともに、神奈川県の「かながわ新総合計画２１」、「かながわ交通計画」において、また、横浜市の「ゆめはま２０１０プラン」においても重要な幹線道路として位置付けられています。

横浜湘南道路は、既に事業化されている「さがみ縦貫道路」「高速横浜環状南線」や供用中の「新湘南バイパス」と一体となって自動車専用道路のネットワークを形成し、広域的な交通の円滑化を図るとともに、地域交通の交通分担を適正化し、国道１号等の交通混雑を緩和することを目的に計画された重要な道路です。

平成１２年７月に都市計画決定がなされ、その後測量及び地質調査に着手しています。

平成１４年度は、藤沢市内で用地買収に着手するとともに、引き続き調査設計を進めます。

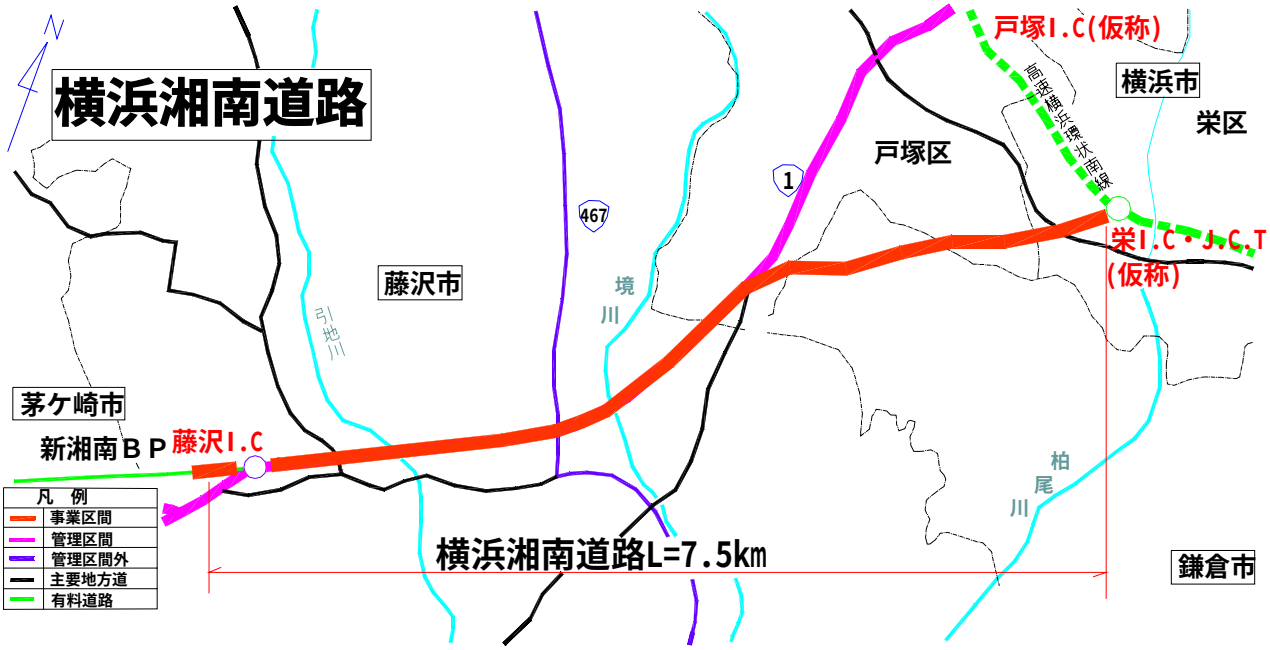
２．計画内容

地 先 名：横浜市栄区田谷町～藤沢市城南

（高速横浜環状南線～新湘南バイパス）

延　　長：７．５㎞

構造規格：自動車専用道路（第１種３級、４車線、設計速度８０㎞/h）



３．主な経緯

平成12年度	着工準備
平成12年７月	都市計画決定
平成13年度	事業化
平成14年３月	設計用地説明 （藤沢市明かり部：（都）藤沢厚木線～（都）辻堂駅遠藤線）
平成14年11月	設計用地説明 （横浜市明かり部：(仮称)栄ｲﾝﾀｰﾁｪﾝｼﾞ・ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝ付近～横浜・鎌倉市境付近（小雀側ﾄﾝﾈﾙ坑口）まで）